

エボラ出血熱の感染経路・感染リスク

資料 5 - 2

基本情報

病原体 ・フィロウイルス科エボラウイルス属のウイルス

潜伏期間 ・2-21日

症状 ・初期症状は発熱、倦怠感、筋肉痛、頭痛、咽頭痛など
・症状出現から約5日で嘔吐、下痢、腹痛などの消化器症状が出現する
・重症例では腎不全、肝不全、出血症状などがみられる

治療 ・輸液、輸血、透析などの支持療法



出典：国立感染症研究所ホームページ

感染源・感染経路

感染源 ・感染した動物の死体や生肉との接触、またその生肉の摂取により感染する
・感染した人の血液、便、尿、唾液、精液などの体液に直接触れた際に粘膜等から感染する
・空気感染はしない
・患者の発症前に接触した者が感染するリスクは低い

曝露様式と感染予防策の有無によるリスクレベルの区分

曝露様式	感染予防策※あり	感染予防策※なし
針刺し・粘膜・傷口への曝露		高リスク
患者や遺体の血液、唾液、便、精液、涙、母乳等に接触	低リスク	高リスク
患者や遺体の検体処理	低リスク	高リスク
患者や遺体の概ね1メートル以内の距離で診察、処置、搬送等	低リスク	高リスク
上記に該当しない、患者や遺体に関わった医療従事者や搬送従事者（救急用自動車等）、患者や遺体の同居の家族など	低リスク	低リスク

※感染予防策：
適切な個人防護服の使用

「ウイルス出血熱に対する
積極的疫学調査実施要領～
地方実地対向け」より改変

エボラ出血熱の感染経路・感染リスク

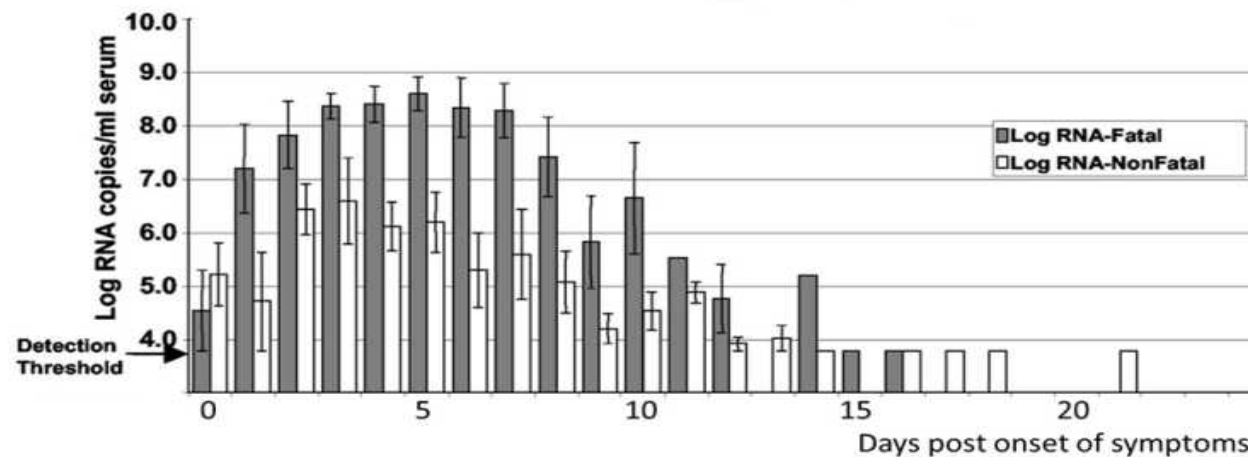
発症前はウイルス量は低いため
他者に感染させるリスクは低い

発症するとウイルス量は
増加する



Figure 1. Ebola virus RNA copy levels in sera over time from 45 Ebola Virus Disease (EVD) patients (27 fatal, 18 non-fatal)¹⁴

Figure 1.



Each bar represents the arithmetic mean value, and the error bars represent 1 standard error of the mean for each time point.

Figure 3A from Towner JS et al. J. Virol. 2004; 78(8):4330. DOI:10.1128/JVI.78.8.4330-4341.2004.

出典：米国CDCホームページ

